

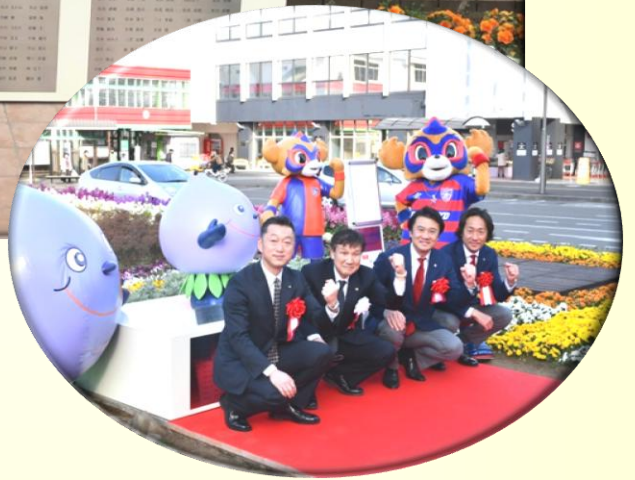
平成31年度 小平市 わかりやすい予算



互いに手を取り合う 東京ドロンパとぶるべー

FC東京小平グランドの最寄駅である小平駅からにぎわいを創出し、地域を活性化するために、FC東京のチームマスコットである「東京ドロンパ」とブルーベリー栽培発祥の地こだいらのシンボルキャラクターである「ぶるべー」のモニュメントを設置しました。

このモニュメント制作にあたっては、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングにより寄付を募り、多くの方のご賛同をいただいています。



主要事業・予算概要説明書

はじめに

小平市の人口は引き続き増加傾向で推移しているものの、やがては減少傾向に転じ、高齢化率が年々上昇を続け、近い将来には、市民の4人に一人が高齢者という時期がくると予測されます。市制施行以来、おおむね一貫して人口増加を続けてきた小平市にとって、平成の次の新たな時代においては、これまでにない、人口減少や高齢化などの変化を経験していくこととなります。

しかし、私は、これらの変化をマイナスのイメージとして捉えるのではなく、むしろ、「参加」と「協働」、そして「市民自治」を推進し、誰もが地域の中で役割や生きがいをもち、担い手や支え手となって、地域の課題解決に取り組むまちづくりにつなげていくための好機ではないかと捉えております。

こうした基本認識のもと、平成31年度は、将来的な人口減少も見据え、「まちの魅力の向上」という視点に重点をおいて、予算編成を行っております。具体的には、災害に強いまちづくりを目指し、駅周辺の利便性や安全性を高めるとともに、まちの緑を守る取組や、子育てをしやすい環境の整備を進め、まちの魅力を高めてまいります。そして、市民の皆様が、地域の担い手や支え手となり、魅力あるまちづくり、地域づくりの主役として活躍していただけるような取組の推進に、引き続き力を入れてまいります。

また、来年はいよいよ東京2020大会開催の年となります。市民の皆様が、オリンピック・パラリンピックを契機に様々なスポーツや文化に親しみ、また、ボランティア活動や多様性の尊重、共生社会の実現への理解などを深められるような機会を提供してまいります。

なお、この「わかりやすい予算」は、平成31年度の主な事業をできるだけわかりやすく説明するとともに、小平市の財政事情を理解していただくために作成いたしました。

今後も市の行政運営について、よりいっそうわかりやすくお伝えできるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

小平市長 小林 正 則

目 次

第1	予算の編成にあたって	1
第2	財政規模	1
第3	平成31年度の主な事業の一覧	2
第4	主な事業の説明	4
	1 安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして (地域・安全・生活・文化)	4
	2 快適で、ほんわかとするまちをめざして (緑・水・環境)	9
	3 健康で、はつらつとしたまちをめざして (次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習)	15
	4 住みやすく、希望のあるまちをめざして (都市基盤・交通・産業)	27
	5 健全で、進化するまちをめざして (地方自治・行財政)	35
	参考資料	37
	一般会計予算について	38
	1 予算のポイント	38
	2 歳入予算について	39
	3 歳出予算について	41
	4 小平市の財政状況	45
	特別会計・下水道事業会計予算について	51
	市役所の組織と連絡先	55

第1 予算の編成にあたって

平成31年度は、「平成」最後の年度であるとともに、新しい時代が始まる節目の年度です。また、10月からは消費税の増税に合わせて様々な制度の変更や施策が展開されるなど、行政を取り巻く環境は大きく変わり続けています。このような中、厳しい財政状況ではありますが、様々な主体と連携しながら、小平市が魅力あるまちとして持続的に発展していくための予算として編成しました。

第2 財政規模

平成31年度の一般会計予算規模は、663億4,600万円で、対前年度比較で2.2%の増となりました。

また、一般会計に3つの特別会計をあわせた総予算額は、1,011億600万円で、前年度と比較して、1.9%の増となりました。

平成31年度当初予算額

区 分	平成31年度	平成30年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
一 般 会 計	663億4,600万円	649億4,500万円	14億 100万円	2.2
国民健康保険事業特別会計	168億6,600万円	170億6,100万円	△1億9,500万円	△1.1
後期高齢者医療特別会計	43億4,900万円	42億 200万円	1億4,700万円	3.5
介護保険事業特別会計	135億4,500万円	130億4,800万円	4億9,700万円	3.8
合 計	1,011億 600万円	992億5,600万円	18億5,000万円	1.9

下 水 道 事 業 会 計	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
平成31年度	43億5,000万円	39億7,400万円	12億円	21億1,700万円
平成30年度	38億6,600万円（参考：官庁会計予算）			

第3 平成31年度の主な事業の一覧

～5つの施策の体系に基づいて事業を展開します～

1	安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして —地域・安全・生活・文化—	ページ
	参加・協働の推進	4
	空き家等セミナー・個別相談会開催	4
	防災行政無線のデジタル化改修	5
	避難所へのマンホールトイレの整備	5
	被災者用備蓄の整備	6
	災害時の応急体制整備	6
	木造住宅の耐震化リフォームの支援	6
	沿道建築物の耐震化等の促進	7
	木造住宅密集地域における地区計画等策定検討	7
	ルネこだいらの設備改修	7
	鈴木遺跡国指定史跡化等の推進	8
	平櫛田中彫刻美術館活性化事業	8
	☆ その他の事業	8
2	快適で、ほんわかとするまちをめざして —緑・水・環境—	ページ
	市民の力による身近な緑を守る取組	9
	特別緑地保全地区用地の取得	9
	鎌倉公園・鷹の台公園の整備の検討	10
	上水南町寄附物件の活用	10
	新堀用水のり面・胎内堀保全改修	10
	みどりの基本計画の策定	11
	下水道用地の取得	11
	公共下水道長寿命化対策の推進	11
	公共下水道雨水整備の推進	12
	下水道プランの策定	12
	省エネルギー・創エネルギーの推進	12
	環境基本計画の策定	13
	家庭ごみ有料化・戸別収集への移行	13
	リサイクルの推進	13
	電気自動車導入の拡充	14
	リサイクルセンターの更新	14
	☆ その他の事業	14
3	健康で、はつらつとしたまちをめざして —次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習—	ページ
	小平市子ども・子育て支援事業計画の策定	15
	学童クラブの充実	15
	認可保育園（私立保育園）の新設	16
	小平市認定家庭福祉員（都制度）の家庭的保育事業（国制度）への移行	16
	子ども家庭支援センター事業の充実	16
	ひとり親家庭・生活困窮者学習支援事業の充実	16
	女性相談事業の充実	17
	地域センターベビーキープ等整備事業	17
	子育て応援サイト管理運営支援	17
	☆ その他の事業（次世代育成）	18

新生児聴覚検査費用の助成	18
こだいら健康ポイント事業	18
庁舎敷地内の禁煙の実施	19
地域包括ケア推進計画の策定	19
地域密着型介護サービスの整備支援事業	19
医療・介護資源調査及び情報提供システムの導入	19
障がい者福祉計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定	20
児童発達支援センターの整備	20
障がい者グループホームの自立支援給付費等の支援	20
☆ その他の事業（健康福祉）	21
学校施設の整備	22
花小金井南中学校地域開放型体育館の建設	22
小学校給食調理業務の委託化	23
学校給食センターの更新	23
登下校区域への防犯設備の整備	23
（仮称）第2期特別支援教育総合推進計画の策定	24
特別支援教育の充実	24
学校における働き方改革	24
コミュニティ・スクールの充実	25
放課後子ども教室の推進	25
小川西グラウンド人工芝生化の検討	25
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた気運醸成	26
☆ その他の事業（教育・生涯学習）	26

4 住みやすく、希望のあるまちをめざして

—都市基盤・交通・産業—

	ページ
小川駅西口地区再開発事業の推進	27
小平駅北口地区再開発事業の推進	27
市道の無電柱化に関する検討	27
都市計画道路整備の推進	28
道路整備事業の充実	28
市内公共交通の充実	30
鉄道駅周辺における自転車駐車場整備の検討	30
鉄道立体化に向けた調査・研究	30
都市農業活性化支援事業	31
都市農地保全支援プロジェクト	31
農商連携地産地消・商業活性化推進プロジェクト	32
プレミアム付商品券事業	32
子育て中の女性の就労促進事業	33
女性再就職サポート事業	33
地域連携型商店街事業	34
ものづくり・商業・サービス生産性向上支援事業	34
観光まちづくりの推進	34
外国人目線で魅力再発見事業	34
☆ その他の事業	34

5 健全で、進化するまちをめざして

—地方自治・行財政—

	ページ
（仮称）第四次長期総合計画の策定	35
市民窓口業務の改善	35
住民情報システムの再構築	35
地方公営企業会計への移行	36
公共施設マネジメントの推進	36
期日前投票所の投票環境の向上	36

第4 主な事業の説明

1 安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして —地域・安全・生活・文化—

安全で安心して過ごすことができ、みんながいきいきとしているまち、だれもが充実した生活を送るとともに、文化や芸術が豊かな誇り高い自信に満ちたまちの実現をめざします。

◆参加・協働の推進

98万3千円

担当：市民協働・男女参画推進課

平成31年度小平市一般会計予算書掲載ページ：78
(以下予算書掲載ページ)

小平市協働の推進に関する指針に基づき、市民活動支援公募事業といきいき協働事業提案制度を、市の課題を協働により解決していく提案型協働事業へステップアップします。

また、市民活動ポータルサイトに創設する市民活動人材バンク「こだいら人財の森」の運用や、大学連携の推進を図ります。

予算の内訳（使いみち）

- 提案型協働事業の推進 53万3千円
(チラシ作成委託、提案型協働事業補助)
- 市民活動人材バンクの運用 25万円
(こだいら人財の森運営委託)
- 大学連携の推進 20万円
(大学連携協議会補助、学生団体事業補助)



地域デビューパーティーの様子

財源内訳

- 都の負担額 16万6千円
- 小平市の負担額 81万7千円

◆空き家等セミナー・個別相談会開催

40万9千円

担当：地域安全課

予算書掲載ページ：74

小平市空き家等対策計画に基づき、空き家等の発生予防、適正管理、活用方法等に関する周知、啓発を行うため、セミナー及び個別相談会を開催します。

予算の内訳（使いみち）

- 空き家等セミナー・個別相談会開催委託 40万9千円

財源内訳

- 都の負担額 20万4千円
- 小平市の負担額 20万5千円

◆防災行政無線のデジタル化改修

1億4,570万円

担当：防災危機管理課

予算書掲載ページ： 72

アナログ通信方式の防災行政無線をデジタル通信方式へ入れ替えます。平成30年度から34年度までの5カ年の計画で改修工事を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 設計等委託 470万円
- デジタル化改修工事 1億4,100万円

財源内訳

- 小平市の負担額 1億4,570万円
(うち市の借金 1億4,100万円)



デジタル化改修する防災行政無線

◆避難所へのマンホールトイレの整備

1,013万4千円

担当：防災危機管理課

予算書掲載ページ： 72

小平市地域防災計画及び小平市下水道総合地震対策計画に基づき、大規模災害時に避難所となる小・中学校など38箇所にマンホールトイレを設置する事業です。平成31年度は、小・中学校や公民館等11施設に、トイレやテント等の備品を購入します。これにより、本事業は完了します。

予算の内訳（使いみち）

- 備品購入費（トイレ用テント・便器など） 1,013万4千円

財源内訳

- 都の負担額 810万円
(市町村総合交付金)
- 小平市の負担額 203万4千円



整備されたマンホールトイレの設置訓練を行う様子

◆被災者用備蓄の整備

担当：防災危機管理課

3,210万5千円

予算書掲載ページ：72

災害時の応急対策として、避難者等に配布する食料や、避難所の運営に必要な資機材を備蓄します。

予算の内訳（使いみち）

●備蓄品購入費 3,210万5千円

財源内訳

■都の負担額 970万円

（市町村総合交付金）

■小平市の負担額 2,240万5千円



避難者に配布する食料や避難所開設のための資機材

◆災害時の応急体制整備

担当：防災危機管理課

308万円

予算書掲載ページ：70、72

災害時の通信手段を確保するために優先電話となる特設公衆電話の設置、災害時の夜間の情報伝達・避難誘導ツールとなる発光型掲示板アンブルボードの購入、応急給水資機材を各避難場所へ保管する倉庫の整備、災害時医薬品等の整備を行います。

予算の内訳（使いみち）

●特設公衆電話の設置 56万5千円

（配管修繕、電話機購入）

●発光型掲示板の購入 14万6千円

●応急給水資機材倉庫整備 186万6千円

●災害時医薬品等整備 50万3千円

（医薬品等購入、維持管理委託）

財源内訳

■小平市の負担額 308万円



災害時に優先電話となる特設公衆電話

◆木造住宅の耐震化リフォームの支援

担当：都市計画課

1,144万円

予算書掲載ページ：222

住宅の耐震化促進のため、旧耐震基準で建築されている木造住宅を対象とする耐震診断費用、及び耐震改修工事の補助を拡充し、安全・安心の向上を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●木造住宅耐震診断補助 144万円

●木造住宅耐震改修補助 1,000万円

財源内訳

■国の負担額 572万円

■都の負担額 286万円

■小平市の負担額 286万円

◆沿道建築物等の耐震化の促進

1,280万1千円

担当：都市計画課

予算書掲載ページ：222

ブロック塀の撤去に係る費用の補助を拡充するとともに、引き続き、特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化を促進します。

予算の内訳（使いみち）

- ブロック塀撤去改良補助 522万円
- 特定緊急輸送道路沿道建築物の補強設計補助 758万1千円

財源内訳

- 国の負担額 564万2千円
- 都の負担額 433万7千円
- 小平市の負担額 282万2千円



ブロック塀倒壊事例（出典：（財）消防科学総合センター）

◆木造住宅密集地域における地区計画等策定検討

421万3千円

担当：都市計画課

予算書掲載ページ：222

東京都防災都市づくり推進計画で、木造住宅密集地域として抽出された小川西町三丁目地区について、地区計画の策定等に向けた取組を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 地区計画策定等 421万3千円

財源内訳

- 都の負担額 210万6千円
- 小平市の負担額 210万7千円



まちづくり地域懇談会の様子

◆市民文化会館（ルネこだいら）の設備改修

6,885万4千円

担当：文化スポーツ課

予算書掲載ページ：82

市民文化会館（ルネこだいら）の利用環境を向上させるため、設備改修を行います。平成31年度は、大ホールのパワーアンプの更新、躯体調査・地下雨水槽の改修設計、給排水設備の改修工事を行います。

予算の内訳（使いみち）

- パワーアンプ更新 5,082万円
- 躯体調査・地下雨水槽の改修設計 653万4千円
- 給排水設備改修工事 1,150万円

財源内訳

- 都の負担額 1,930万円
（市町村総合交付金）
- 小平市の負担額 4,955万4千円
（うち市の貯金取崩し 300万円）
（うち市の借金 3,810万円）



ルネこだいら大ホール

◆鈴木遺跡国指定史跡化等の推進

901万3千円

担当：文化スポーツ課

予算書掲載ページ：282、284

平成25年度から、鈴木遺跡の国指定史跡化を目指して事業を進めています。平成31年度は、遺跡総括報告書をまとめ、国指定史跡化を目指します。また、鈴木遺跡保存管理等用地（旧農林中央金庫研修所）の除草・樹木剪定などの維持管理を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●遺跡総括報告書作成 （委員謝礼、基礎資料作成、臨時職員等）	501万3千円
●保存管理等用地維持管理費	400万円

財源内訳	
■国の負担額	111万4千円
■都の負担額	55万7千円
■小平市の負担額	734万2千円



鈴木遺跡の発掘調査の様子（平成30年度）

◆平櫛田中彫刻美術館活性化事業

598万2千円

担当：文化スポーツ課

予算書掲載ページ：80

東京2020大会を契機とする文化振興の取組として、館内音声ガイドや美術館内外の掲示の多言語化リニューアル等を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●企画展示の活性化	48万2千円
●多言語化リニューアル	500万円
●館長映像資料作成	50万円

財源内訳	
■区市町村観光インフラ整備支援補助金	249万9千円
■小平市の負担額	348万3千円



イベントで美術館を観覧する在住外国人

☆その他の事業

◆地域センター19館維持管理経費 （嘱託職員報酬、光熱水費、建物定期清掃など）	2億3,401万9千円
◆消防団関係運営経費 （消防団員報酬、出動手当、消耗品費、備品購入費など）	6,358万9千円

2 快適で、ほんわかとするまちをめざして — 緑・水・環境 —

緑が豊かな武蔵野の自然に囲まれ、環境にやさしいまち、だれもが安らぎ快適な生活を送るとともに、地球環境に配慮した賢いまちの実現をめざします。

◆市民の力による身近な緑を守る取組

担当：水と緑と公園課

142万9千円

予算書掲載ページ： 226、228
230

こだいら名木百選に選ばれた名木に対し剪定費用を補助するとともに、市民ボランティアにより保存樹林等の調査を行う「森のカルテづくり」、グリーンフェスティバルにおいて、みどりに関する相談ができる「みどりの相談所」、公園等ボランティアに参加している団体のアダプト制度への移行についての取組を行います。

予算の内訳（使いみち）

●こだいら名木百選 剪定費補助	80万円
●森のカルテづくり 報告書	20万円
●みどりの相談員 謝礼	6万円
●公園等アダプト制度 消耗品等	36万9千円

財源内訳

■小平市の負担額	142万9千円
----------	---------



アダプト制度

◆特別緑地保全地区用地の取得

担当：水と緑と公園課

4,891万6千円

予算書掲載ページ： 228、230

平成29年度に土地開発公社が先行取得を行った上水新町一丁目特別緑地保全地区用地を、平成31・32年度の2か年で取得し、小平市のみどりの保全を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●土地購入費	4,804万8千円
●土地鑑定費	86万8千円

財源内訳

■国の負担額	1,601万5千円
■小平市の負担額 (うち市の借金 2,880万円)	3,290万1千円



上水新町一丁目特別緑地保全地区

◆鎌倉公園・鷹の台公園の整備の検討

866万9千円

担当：水と緑と公園課

予算書掲載ページ：228

小平都市計画公園3・3・1号鎌倉公園については基本計画の作成等、小平都市計画公園3・3・4号鷹の台公園については用地測量を行います。なお、鷹の台公園については、区域の一部について、土地開発公社による用地の先行取得を予定しています。

予算の内訳（使いみち）	
●鎌倉公園 基本計画の作成等	280万円
●鷹の台公園 用地測量	586万9千円

財源内訳	
■小平市の負担額	866万9千円

◆上水南町寄附物件の活用

3,156万2千円

担当：公共施設マネジメント課、水と緑と公園課

予算書掲載ページ：64、66
228

寄附受けした現金及び土地の一部を売却する資金で公園を整備するもので、平成31年度は、既存建築物の解体工事、整備予定の公園の設計等を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●公園設計	500万円
●分筆測量	80万2千円
●害虫駆除	9万9千円
●解体工事	2,566万1千円

財源内訳	
■小平市の負担額	3,156万2千円

◆新堀用水のり面・胎内堀保全改修

3,151万5千円

担当：水と緑と公園課

予算書掲載ページ：214、216

新堀用水の小川橋の西側部分のり面・胎内堀の保全工事を平成30・31年度の2カ年で行うものです。平成31年度は、のり面の保全工事を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●土地借上料	50万円
●小川用水生物調査	15万2千円
●のり面保全工事	3,086万3千円

財源内訳	
■都の負担額 (市町村総合交付金)	620万円
■小平市の負担額 (うち市の借金 2,310万円)	2,531万5千円



完成イメージ図

◆みどりの基本計画の策定

300万円

担当：水と緑と公園課

予算書掲載ページ：230

平成31年度で計画期間が終了する「小平市みどりの基本計画2010」について、長期総合計画や環境基本計画等と整合を図るため、計画期間を1年間延伸し、平成33年度から10年間を計画期間とする次期計画を策定します。平成31年度は、緑被率調査、アンケート調査等を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 緑被率調査等

300万円

財源内訳

- 小平市の負担額

300万円

◆下水道用地の取得

2億7,970万8千円

担当：下水道課

平成31年度小平市下水道事業会計予算書掲載ページ：26、27

現在借地しているふれあい下水道館用地及び石神井幹線マンホール管理用地を取得します。

予算の内訳（使いみち）

- 用地購入
- 鑑定料

2億7,797万7千円
173万1千円

財源内訳

- 小平市の負担額

2億7,970万8千円

（うち市の借金 2億7,970万円）



ふれあい下水道館

◆公共下水道長寿命化対策の推進

3億8,064万5千円

担当：下水道課

平成31年度小平市下水道事業会計予算書掲載ページ：21、26

鈴木処理分区の長寿命化対策工事を進め、下水道管の長寿命化を図るほか、平成33年度以降に長寿命化対策工事を予定している喜平処理分区について、管路調査等を実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 修繕等
- 調査・改築等

4,398万9千円
3億3,665万6千円

財源内訳

- 国の負担額
- 都の負担額
- 小平市の負担額

2,680万円
134万円
3億5,250万5千円

（うち市の借金 1億4,640万円）



下水道管さよの調査の様子

◆公共下水道雨水整備の推進

4億2,808万1千円

担当：下水道課

平成31年度小平市下水道事業会計予算書掲載ページ：26

分流式下水道区域の浸水対策を図るため、雨水管さよの設計や、大沼町1・2・4丁目及び東京街道で管さよ築造工事等を実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 管さよ築造工事 3億5,554万7千円
- 設計等委託 7,253万4千円

財源内訳

- 国の負担額 2,256万円
- 都の負担額 112万8千円
- 小平市の負担額 4億4,397万3千円
(うち市の借金 3億2,870万円)



雨水管さよ築造工事の様子

◆下水道プランの策定

500万円

担当：下水道課

平成31年度小平市下水道事業会計予算書掲載ページ：23

現在の下水道プランの計画期間が平成32年度をもって終了するため、平成33年度からの10年間の計画期間とする次期の計画の策定業務に着手します。

予算の内訳（使いみち）

- 策定業務委託 500万円

財源内訳

- 小平市の負担額 500万円

◆省エネルギー・創エネルギーの推進

1,036万4千円

担当：環境政策課

予算書掲載ページ：184

二酸化炭素排出量の削減やエネルギーの地産地消を図るため、市民・事業者に対して、太陽光発電設備、燃料電池を設置する際の費用の一部を助成します。

省エネルギーへの取組としては、「市民版環境配慮指針」の啓発支援講座や、Web・アプリ版環境家計簿の普及啓発により推進します。

予算の内訳（使いみち）

- 新エネルギー機器設置モニター助成 1,000万円
- Web・アプリ版環境家計簿保守 32万円
- 講師謝礼 4万4千円

財源内訳

- 小平市の負担額 1,036万4千円



太陽光発電設備

◆環境基本計画の策定

担当：環境政策課

264万1千円

予算書掲載ページ：184

平成33年度で計画期間が終了する「第二次環境基本計画」について、地域エネルギービジョン及び第二次エコダイラ・オフィス計画の計画終了年度に合わせ、計画終了年度の1年前倒しを行い、両計画と生物多様性地域戦略を盛り込んで、次期環境基本計画を策定します。また、計画対象期間は平成33年度からの10年間とし、平成31年度は、市民アンケートや市民参加型の生き物調査を行います。

予算の内訳（使いみち）

●市民アンケート調査	50万8千円
●市民参加型生き物調査	200万円
●環境審議会委員報酬（増加分）	13万3千円

財源内訳

■都の負担額	100万円
■小平市の負担額	164万1千円



自然観察会の様子

◆家庭ごみ有料化・戸別収集への移行

担当：資源循環課

4億2,130万7千円

予算書掲載ページ：186、190

平成31年度から開始する家庭ごみ有料化及び戸別収集について、着実に実施できるよう、指定収集袋・収集カレンダー等の作成のほか、ふれあい収集等を行います。

予算の内訳（使いみち）

●収集運搬（増加分）	1億8,061万6千円
●指定収集袋製造・管理	1億7,192万9千円
●指定収集袋販売手数料	3,575万2千円
●カレンダー・パンフレット作成・全戸配布	1,183万円
●指定収集袋等受注収納	872万円
●コールセンター	400万円
●減免対象者勧奨通知・決定通知等	355万2千円
●収集運搬パトロール等	218万8千円
●市報特集号 全戸配布・印刷	127万6千円
●減免パック作成	89万1千円
●臨時職員	11万3千円
●住宅地図等	44万円

財源内訳

■手数料	4億1,000万円
■小平市の負担額	1,130万7千円

◆リサイクルの推進

担当：資源循環課

169万6千円

予算書掲載ページ：190

3R推進の取組を行う市内小売店等を、3R推進協力店として認定し、事業者との連携・協力を図ります。また、新リサイクルセンターでの陶磁器の常時回収や小型家電の回収ボックスの増設を行い、リサイクルの推進に取り組みます。

予算の内訳（使いみち）

●3R推進協力店広報物作成	10万7千円
●陶磁器運搬再資源化（増加分）	137万3千円
●小型家電の拠点回収ボックス	21万6千円

財源内訳

■小平市の負担額	169万6千円
----------	---------

◆電気自動車導入の拡充

880万6千円

担当：総務課、環境政策課、下水道課、道路課

予算書掲載ページ：52、180、182、210

平成31年度小平市下水道事業会計予算書掲載ページ：23

電気自動車の導入を拡充し、二酸化炭素排出量の削減に取り組むことで、環境の負荷の軽減を図ります。

予算の内訳（使いみち）	
●車輦リース	71万円
●車輦購入等	767万4千円
●充電設備整備	42万2千円

財源内訳	
■都の負担額 （市町村総合交付金）	740万円
■クリーンエネルギー自動車導入事業費補助金	60万1千円
■小平市の負担額	80万5千円

◆リサイクルセンターの更新

2億7,141万3千円

担当：資源循環課

予算書掲載ページ：190、192

3市共同資源物処理施設で処理する2品目（プラスチック製容器包装、ペットボトル）以外のビン、カン等を、引き続き安定的、継続的かつ適正に処理するため、リサイクルセンターの施設更新を行います。また、平成31年度から新施設の稼働を開始し、現施設の解体を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●長期包括運営業務	1億2,271万1千円
●現施設解体工事	1億2,600万円
●広場整備詳細設計業務	979万円
●長期運営モニタリング等支援業務	653万4千円
●土壌調査業務	366万2千円
●廃棄物運搬処分業務	242万4千円
●ねずみ・害虫等駆除業務	29万2千円

財源内訳	
■小平市の負担額 （うち市の借金 9,450万円）	2億7,141万3千円



新しいリサイクルセンター

☆その他の事業

◆公害対策・環境保全等経費	1,996万7千円
◆塵芥処理経費（ごみ収集、処分など）	22億7,747万3千円
◆し尿処理費	5,543万2千円
◆資源循環推進経費 （資源循環の推進、リサイクルセンターの管理運営など）	3億4,025万9千円
◆用水路経費（整備、維持管理、雨水浸透など）	5,714万5千円
◆公園緑地経費（維持管理、緑地の保全など）	2億8,405万3千円
◆下水道事業経費（下水道事業会計への繰出金）	11億2,300万円